



日蓮宗

令和7年
冬号

妙傳寺だより

法 雨



- ・ 節分祈禱会のご案内
- ・ 午年とは
- ・ 年間行事予定
- ・ 来年の年回忌法要
- ・ 年回忌の「3」と「7」
- ・ 様々なご祈禱

感應山



妙傳寺

星祭節分

特別祈祷会

こやすきしもだいそんじん

子安鬼子母大尊神



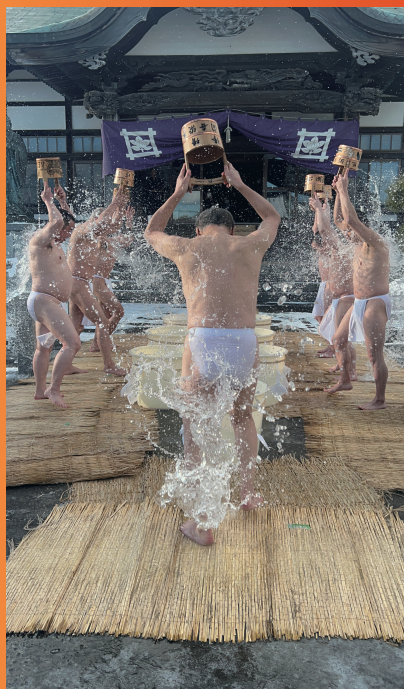
令和8年 2月3日 (火)

- | | |
|-------|-------|
| 午後3時 | 水行 |
| 午後3時半 | 星祭節分会 |
| 午後4時 | 特別祈祷会 |
| 午後4時半 | 豆撒き |

檀家様だけでなく、
どなたでもご参加いた
できます。
皆様お誘い合わせのう
え、
ご参列ください。

水行

水行とは、水垢離（みずごり）とも言われ、身と心と魂の垢を取り除き、清める修行の一つです。



星祭節分会

星祭とは九曜星を元に、一年の吉凶を知り、悪しき年廻りの方は、災難を除き幸福を得る為に。善き年廻りの方は、更に幸福を増益する為に、仏様の前にて信仰の誓いをもって祈りを捧げる儀式でございます。また、星祭は冬至の日に行われるのが本来ですが、節分と似た趣旨である事から現在では一緒に行われています。

特別祈禱会

お札を申し込まれた方は、特別祈禱会への参加をお願いしております。鬼子母神様や大黒天様に法華経の功德を捧げ、身体に撰法華経を当てることで、経力を得てご守護を賜ることができます。

豆撒き

その年の厄年の方に協力をお願いいたします。豆を一緒に撒きます。また、景品



もご用意しております。皆様、ご家族で奮ってご参加ください。



◆星祭守り

木 ○	月 ○	計 ●	火 ●	日 ○	金 ●	水 ●	土 ●	羅 ●	男
9	8	7	6	5	4	3	2	1	九曜星吉凶表
18	17	16	15	14	13	12	11	10	
27	26	25	24	23	22	21	20	19	
36	35	34	33	32	31	30	29	28	
45	44	43	42	41	40	39	38	37	
54	53	52	51	50	49	48	47	46	
63	62	61	60	59	58	57	56	55	
72	71	70	69	68	67	66	65	64	數え年
81	80	79	78	77	76	75	74	73	
90	89	88	87	86	85	84	83	82	
水 ●	金 ●	日 ○	羅 ●	土 ●	月 ○	木 ○	火 ●	計 ●	

○…吉 ●…前半吉、後半凶 ●…前半凶、後半吉 ●…凶

申込料（一名分） ……五百円

※星祭守りを申込の方は、自分の性別の欄に、年齢（数え年）をご記入の上、お申込み下さい。

※星祭守は財布や鞆など、身に着ける（触れる）ところにいれて一年をお過ごし下さい。



古いお札

正月飾り

お焚き上げ

去年の古いお札やお守りのお焚き上げ供養は、お寺に専用箱を用意してありますので、そちらにお入れ下さい。



※数え年について

数え年では、一月一日生まれから二月二日までの生まれの人を、前年の生まれとして見ます。

例一…一月三十日生まれ、

令和八年で十歳になる場合。

令和八年では、満年齢十一歳として見る為、数え年は十二歳になります。

例二…三月十五日生まれ、

令和八年で十歳になる場合。

令和八年では、満年齢十歳として見る為、数え年は十一歳になります。

◆三宝荒神札

さんぼうこうじん

三宝荒神とは仏法僧の三宝を守る神ではありますが、民間信仰として竈（台所）を守る神として親しまれています。

台所に貼ってお祀りしましょう🙏

一札 一千円



◆烏枢沙摩明王札

うすさま みょうおう

烏枢沙摩明王とは炎によってこの世のあらゆる汚れを燃やし尽くすといわれ、不浄の場であるトイレを守る神様として祀られています。

一札 一千円



日常生活において毎日使う台所とトイレを清め、御守護いただきましょう🙏
ご入用の方は受付にてお求めください。

◆特別祈祷内容一覧

身体健全	体が健康でありますように
家内安全	家族が無事に過ごせますように
除厄開運	厄を除き運気が上がりますように
除災得幸	災いを除き幸福を得れますように
闘病平癒	病気が治りますように
息災延命	長生きできますように
良縁成就	良き人に出会いますように
子宝成就	子供が授かりますように
安産成就	無事出産できますように
発育成就	子供が元気に育ちますように
試験合格	志望校に受かりますように
学業増進	頭が良くなりますように
商売繁昌	商売が繁昌しますように
事業繁栄	事業が成功しますように
社運隆昌	会社の運気が上がりますように
豊作祈願	作物が良く実りますように
交通安全	事故にあいませんように
海上安全	海上事故にあいませんように
航空安全	航空事故にあいませんように
作業安全	業務中の事故にあいませんように

申込料（一祈祷）……五千円

※前厄、本厄、後厄の方は申込書に「前」、「本」、「後」のどれかを書き下さい。除厄開運としてご祈祷します。

※前厄は左の厄年の年齢マイナス一歳、後厄の方はプラス一歳です。

※八方塞がりの方は「ハ」とお書き下さい。除災得幸としてご祈祷致します。



お札とともに右記などのお守りを付属します。
財布など、身近なものと合わせて持ち、日々お過ごしください。

八方塞がり

厄年

※厄年、八方塞がりの年齢は共に数え年となっています	1歳	55歳	6歳	60歳
	10歳	64歳	15歳	69歳
	19歳	73歳	24歳	78歳
	28歳	82歳	33歳	87歳
	37歳	91歳	42歳	96歳
	46歳	100歳	51歳	105歳



日蓮宗の祈禱

日蓮宗では、古来より相伝される木剣修法によって行います。

罪障を払い、身を清め、祈願の成就を祈ります。



木剣修法とは

毎年十一月一日から翌年の二月十日までの寒中百日間、千葉県市川市の法華経寺にあります、世界三大荒行に数えられる『大荒行堂』で苦修錬行を積んだ者だけが、相伝される祈禱法であります。荒行堂の生活は、一日七回の水行と四回のお勤め、それ以外の時間は読経三昧に入つて、食事は一日二回のお粥のみ、自分自身を極限状態に枯らしてこそ、授かることのできる祈禱法です。



僧侶が大荒行堂にて写経した撰法華経というお経巻を身体に当て、心の垢である、罪障を払い、祈願の成就を祈ります。

様々なご祈禱

地鎮祭

建物の起工に先立ち、敷地内に祭壇を設け、その土地の鎮魂と清浄を祈念すると共に、工事安全と居住する者の子孫繁栄と家内安全を祈願する儀式です。



七五三参り

七五三参りは、数え年で、三歳、五歳、七歳の年の十一月十五日に子供の発育増進と智慧明瞭を祈願すると共に、厄払いをいたします。ご祈願の後、お守りとお菓子をお渡しします。



車両祈禱

新たに車両を購入された際に、交通安全と車両安全の祈願をします。ご祈願後に、交通安全のお札とお守りを授与します。

安産祈願

「帯祝い」ともいわれ、古来より妊娠五ヶ月目の最初の戌の日に腹帯を巻いて、安産を願います。「戌」という字には「守る」という意味があります。当山では、子育ての神様である鬼子母神様に祈願し、腹帯、敷き守り、お守りを授与します。



◆年間行事予定表

月 日 行 事

二月三日	星祭節分会・特別祈禱会
三月十一日～二十三日	春季彼岸経廻り
三月二十日	お中日春季彼岸会御施餓鬼法要
四月八日	釈尊降誕会並びに立教開宗会
六月八日	鬼子母神大祭
八月一日～十二日	お盆経廻り
八月十三日～十六日	骨堂回向
八月十五日	新盆塔婆供養会
八月十六日	盂盆会施餓鬼法要
九月十四日～二十六日	秋季彼岸経廻り
九月二十三日	お中日秋季彼岸会施餓鬼法要
十月十二日	日蓮聖人御入滅「報恩御会式」御逮夜法要
十月十三日	〃 〃 御征当法要

◆月例行事予定表

八日講 ご祈禱会

毎月八日（一、八月を除く）はご祈禱会を行なっております。身体健全や闘病平癒などの祈願、お焚き上げなど様々なご祈禱の受付をしております。気軽にお申し付け下さい。毎月、俱生霊神符という肌守りをお配りしております。四月は釈尊降誕会、六月は鬼子母神祭となっております。

十三日講 報恩会又は唱題行

毎月十三日（三月、四月、六月、八月、九月を除く）は日蓮聖人のご聖日です。法華経、お題目を弘められた日蓮聖人への報恩感謝の気持ちをお伝えする法要です。十月は報恩御会式となっております。

二十五日講 月例施餓鬼会

毎月二十五日（三月、八月、九月を除く）は主に水子、ペット、永代供養者の霊位を供養しております。霊位の飢えを除き、自身の心の渇きを潤す大切な法要です。どなたでもお参り可能ですので、是非お参り下さい。

◆令和八年 年回忌一覽

一周忌	令和七年
三回忌	令和六年
七回忌	令和二年
十三回忌	平成二十六年
十七回忌	平成二十二年
二十三回忌	平成十六年
二十七回忌	平成十二年
三十三回忌	平成六年
三十七回忌	平成二年
四十三回忌	昭和五十九年
四十七回忌	昭和五十五年
五十回忌	昭和五十二年

◆年回忌の「3」と「7」の秘密

僧侶になり、よくよく疑問に思っていました。「どうして二年目に三回忌というのだろうか？」
「どうして三と七回に法事をするのだろうか？」 同じような疑問を檀信徒の方々にされた時、私は答える事ができませんでした。その悔しさとモヤモヤから、この疑問に対する自分なりの答えを見つけましたので、最後までお読みいただけると幸いです。

一、「なぜ、二年目に三回忌というのか？」

まず、生きている私たちに置き換えて考えてみようと思います。私たちが生まれた時は満年齢で0歳ですが、数え年においては一歳となります。これは、母親の胎内にいる十ヶ月と十日の期間を含めるからです。これでは数え年である十一歳を満たすことができない為、約五十日である四十九日の修行期間を経て、故人の現世における修行が完結します。四十九日法要が大切な理由はこの為です。だからこそ、故人の享年は数え年で表すのです。故人が生を受けてから四十九日に至るまでを数え一歳とし、翌年を一周忌（二回忌）、翌々年を三回忌別の言い方をすれば、お釈迦様の世界で数え三歳忌とも言えるでしょう。

二、「なぜ、三と七回に法事をするのか？」

下の図をご覧ください。見慣れない数字の配列があると思います。これは九星気学に基づく配列で、私たちの生活している何気ないところにも九星がもたまって取り入れられております。まずは「3」の位置を見てください。東の位置にあります。東から太陽が登ることから東には未来の意を持ち、反対に西は過去の意を持ちます。中心の「5」は現在を表す数字になります。南北においては南が天、北が地を表しており、天を神仏、地を人々として、一、五、九は神仏と私達を繋ぐ数字となっております。天地を横切る過去未来の東西線は不吉とされ、「厄」と呼ばれました。七五三がお祝いではなく、厄払いであるのは、この事が理由となっております。

南

4	9	2
3	5	7
8	1	6

 北

故人においての三、七回忌は成仏の世界においての三歳、七歳が厄になってしまう為、生きている私達が法事を営むことで、故人を救う事ができます。そして、故人と皆様を繋ぐ過去の縁と未来の縁を清浄にすることでもあり、現在を生きる私達が純粹に神仏と繋がれること。これこそが、本来の年回忌法要の本質であると考えます。今後も皆様と法要を営み、故人と神仏と繋がれるお寺づくりを目指し、日々勤めて参ります。

暦を知ろう



干支について

「干支」といえば「子丑寅…」などの十二種類を思い浮かべるとはいますが、本来は「十干(甲乙丙…)」と「十二支(子丑寅…)」を合わせたものを「干支」といいます。今回は干支について簡単にお話したいと思います。干支は私達の生活や歴史の中でも多く使われています。いくつか例を挙げてみます。

「正午」「午前」「午後」は、昔の時間の読み方で、午の刻(午前十一時から午後一時)が由来です。

また、「おやつ」という言葉も、八つ目の時刻である申の刻(午後三時から五時)のことです。皆様のよく知る「甲子園」も大正十三年甲子の年にできたことから「甲子園」と名付けられました。

このように、普段何気なく使っている言葉に干支を由来とする言葉が隠れています。

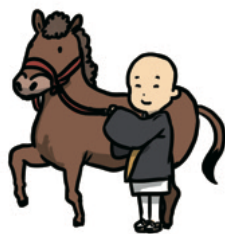
干支は、陰陽五行がもとになっており、「木・火・土・金・水」の万物を構成する五元素が配当されています。下の表が干支の呼び方と五行の配当となっております。

木		火		土		金		水	
寅卯	巳午	丑辰	申酉	亥子	未戌	寅卯	巳午	丑辰	申酉
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
きのこ	きのこ	ひのこ	ひのこ	つちのこ	つちのこ	かのこ	かのこ	みのこ	みのこ

今年はどうな年？

丙午一白水星

丙午とは



丙…燃え上がる、表面を飾るなどのいみがあります。

午…華やか、明らか、逆らう、答えが出るという意味があります。

丙と午はともに火の性質をもっており相性が良いです。また、火の要素が強い為、過去にはこの年に生まれた方は気性が荒いと言われておりました。また、火の性質には名誉運が上がる性質がある為、飛躍の運氣を表します。

一白水星とは

易象………坎宮

方位………北

十干………壬、癸

十二支………子

時刻………二十三時～一時

季節………十二月

色………黒色

派生原理………水（流れるもの）

穴（土が欠ける↓坎）↓落ちる↓暗い

象意………苦勞、困難、終わって始まる、隠れる、目下、

家庭、子供

このように一白水星にも様々な意味や関連項目があります。一白水星は北を表す星なので、太陽が登る南と反対方角の為、どうしても暗いイメージがありますが、安定という意味や家庭運の向上にも繋がる星です。水の力を持つので、良いものを周りに巡らせる性質もあります。



令和八年はどんな年？

今年は一白水星の方が八方塞がりになります。良きことも、そうではない事も表面化される年になるでしょう。人によっては一つの節目を迎え新たなスタートを切る方もいるかもしれません。前回の丙午（一九六六）年には、

- ・ビートルズ来日、武道館公演
- ・全日空機墜落事故
- ・黒い霧事件により衆議院解散
- ・百円札が廃止され、百円硬貨が発行
- ・札幌オリンピック開催決定
- ・などがありました。

午という字には「切り替え」という意味も持つ為、自身の様々な変化にあたり、準備を怠らぬようにしていきましょう。また、午は逆らう（忤う）という意味をもつので、より一層神仏への信仰を深め、良き一年に転ずるよう日々を過ごしていきます。

午はお稲荷様を表すので、自宅や職場にお稲荷様を祀っている方は、よくよく手を合わせると良いでしょう。



ペット供養墓「安穩」^{あんのん}



2025年の夏頃に、兼ねてよりお伝えしておりました、ペット供養墓「安穩」が完成しました。

家族の一員として、共に過ごしたペットの安らぎの場として、皆様に親しんでいただけるよう、「安穩」と名付けました。

お申し込み、ご相談は随時受け付けております。

皆様からのご連絡をお待ちしています。

